

日光白根山山行記録



弥陀ヶ池から山頂を望む



山頂で



鹿に出会う

目的地	日光白根山	期 日	平成22年8月22日（日）：晴れ
山人	笠原正雄・澄子	特 記	3度目の山行。大勢で賑わっていた。

地点名	時刻	記 事
与板発	午前 5:20	約2時間半で菅沼茶屋前に着く。駐車スペース満杯。ようやく最後の一台分の場所に駐める。隣の車の練馬からの夫婦が先行して行った。
歩き出し	8:20	沢道に入ると小鳥の撮影者が三脚を構えていて、菅笠をほめられた。登りの途中一箇所だけ右の樹林が切れて菅沼・大沼方面が見えた。
弥陀ヶ池	9:56～10:08	よく晴れて山容が青空に映えている。途中で練馬の夫婦を追越す。
山頂直下の登り		ロープウェイ利用者も加わり、人数が多くなる。カニコウモリ、黄花はヤマガラシか、マルバダケブキ、ハクサンフウロも混じる。トウヤクリンドウは蕾。振り返れば躰ヶ岳が良く分かる。途中で妻のペースが極端に落ちた。子供連れが高速で登って行く。
山 頂	11:15～12:40	山頂標柱の前で数組のシャッターを押してやる。大勢が腰を下ろしている。場所を選んで焼きうどんでランチ。五色沼を見下ろす。中禅寺湖はかろうじて一端が見えたが、男体山は雲の中で見えない。山頂祠の前に出てから下山。
前白根分岐	1:30	避難小屋の外壁が新しくなったように思えたが、違ったかも知れない。
鹿に出会う	1:40	立派な角の鹿を間近に見る。直ぐに五色沼畔に出る。午前追越した地元の3人女性隊と会う。彼女らは前白根山へ行って来たと言う。
		弥陀ヶ池への登り返しで男女4人を追越すが、高年男性のおしゃべりがうるさい。この後の下山でも後ろから聞こえてくる彼らの話し声が煩わしい。
弥陀ヶ池	2:10	少し休んで同じ道を下山。
駐車地点に戻る	3:30	沢の道で朝の小鳥撮影者がまだ頑張っていた。1,000枚程シャッターを押したと云う。練馬夫婦も同時に戻る。彼らは自宅を朝5時発だったそうだ。また、今日は元湯泊とのことだ。丸沼高原座禅温泉に入浴し、とうもろこし街道の直売所で花インゲン豆ととうもろこし、大根等を買う。
与板着	8時過ぎ	喜多町「あおき」でラーメンを食べて帰宅する。

5年前、伊香保へ行く前に単独で登ったときは晴れて良く見えた。一方、3年前、6人で前夜現地幕営で向かった時は、朝歩き出すところから小雨が降り出し、風もやや強かった。山頂では霧が濃く、方向を見極めるのにも難儀をするほどだった。今回ともいづれも同じコースを歩いている。

今回は晴れて期待をして出かけた。途中までは良かったが、山頂での展望は期待外れであった。至近距離で鹿を見たが、もう少しそばまで近づきたいところだが、やはりためらわれる。